

令和8年第8回東海市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 令和8年8月21日（金）
開会 午後1時30分
閉会 午後2時02分
- 2 開催場所 603会議室
- 3 出席者
教 育 長 鈴 村 俊 二
委 員 久 野 友 士
委 員 石 川 真理子
委 員 木 村 敏 幸
委 員 堀ノ口 香 織
委 員 倉 知 かおり
- 4 欠席委員 なし
- 5 委員以外の出席者 なし
- 6 説明のため出席した者
教育部長 橘 洋 子
芸術劇場館長兼芸術総監督 安 江 正 也
学校教育課長 桜 井 正 志
学校教育課指導主事 近 藤 香 織
学校教育課指導主事 加 藤 雅 尚
教員研修センター指導主事 永 谷 研次郎
学校給食センター所長 長 内 加 織
社会教育課長 永 井 伸 明
社会教育課統括主幹 佐々木 三千代
スポーツ課長兼アジア大会
カバディ推進室長 伊 藤 孝 英
中央図書館長 内 山 香 織
管理課長 中 島 達 也
文化芸術課長 栗 原 知 里
- 7 会議書記
学校教育課統括主任 田 中 恒 輝
学校教育課主任 小 野 友莉香
- 8 議事日程 別紙日程のとおり

9 傍聴人

なし

10 協議概要

教育長（鈴木 俊二）

ただいまから、令和8年第8回東海市教育委員会定例会を開会いたします。

本日の議事日程については、あらかじめ配付いたしました日程表のとおり進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

これより会議に入ります。

教育長（鈴木 俊二）

日程第1、「前回議事録の承認」を議題といたします。お諮りいたします。本案については、承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声）

教育長（鈴木 俊二）

御異議なしと認めます。よって、「前回議事録の承認」については、承認されました。

教育長（鈴木 俊二）

日程第2、「報告」を議題といたします。

報告のある委員はいらっしゃいますか。

教育長（鈴木 俊二）

ないようですから、これをもって「報告」を終わります。

教育長（鈴木 俊二）

日程第3、教育委員会議案第25号、「令和8年度教育費補正予算の議会提出について」を議題といたします。教育部長から説明をお願いします。

教育部長（橘 洋子）

（資料に基づき説明した）

学校教育課長（桜井 正志）

（資料に基づき説明した）

教育長（鈴木 俊二）

これより質疑に入ります。質疑、意見の発言を許します。

教育長（鈴木 俊二）

ないようですから、これをもって質疑を終わり、採決いたします。お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

異議なしと認めます。よって本案は、原案のとおり可決されました。

教育長（鈴木 俊二）

続きまして、日程第4、教育委員会議案第26号「令和7年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の議会提出について」を議題といたします。学校教育課長から説明を求めます。

学校教育課長（桜井 正志）

(資料に基づき説明した)

教育長（鈴木 俊二）

これより質疑に入ります。質疑、意見の発言を許します。

2番委員（石川 真理子）

2ページの教育長職務代理が前年度のものになっている。

学校教育課長（桜井 正志）

訂正を行う。

教育長（鈴木 俊二）

ほかはないようですから、これをもって質疑を終わり、採決いたします。お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

御異議なしと認めます。よって本案は、原案のとおり可決されました。

教育長（鈴木 俊二）

日程第5、「その他の報告事項」を議題とします。

(1)から(3)まで、担当課長等から順に報告を求めます。

学校教育課指導主事、学校給食センター所長

(資料に基づき説明した)

教育長（鈴木 俊二）

これより質疑に入ります。質疑の発言を許します。

3 番委員（木村 敏幸）

令和 8 年度（2026 年度）中学生親善交流事業（米沢市）の結果について、市のバスが中型バスになったということか。

学校教育課指導主事（近藤 香織）

市のバスが大型バスから中型バスに変更になった。

1 番委員（久野 友士）

子どもの自立と未来を語る会（旧：進路ガイダンス）の結果について、参加者 67 人は例年の参加者数と比べるとどうか、また、パネルディスカッションでの講話があるが、過去パネリストの話を聞いて学校復帰等をした参加者は何人いるか。

学校教育課指導主事（近藤 香織）

参加者の人数については、昨年より 10 人程少なくなった。周知の方法を工夫していく必要がある。

復帰者の統計はとっていない。

5 番委員（倉知 かおり）

子どもの自立と未来を語る会（旧：進路ガイダンス）の結果について、参加者が生徒 8 人ということであるが、中学生ということか。学年の内訳が知りたい。

学校教育課指導主事（近藤 香織）

8 名全員中学生である。例年は中学 3 年生を中心に参加があったが、今年度は中学 2 年生の生徒や特別支援学級の生徒も参加した。

教育長（鈴木 俊二）

ほかにはないようですから、これをもって質疑を終わります。

教育長（鈴木 俊二）

続いて、(4)から(7)について、担当課長等から順に報告を求めます。

社会教育課長、スポーツ課長、学校教育課長

（資料に基づき説明した）

教育長（鈴木 俊二）

これより質疑に入ります。質疑の発言を許します。

4 番委員（堀ノ口 香織）

第 9 回東海市ものづくり道場の結果について、来場者数 2000 人は昨年と比べてどのようか。また、出店している企業・団体以外で携わっているスタッフはボランティアであるか。

社会教育課長（永井 伸明）

来場者数について、昨年度は 1900 人、今年は 2000 人であり、参加者数は

増加している。携わっている方の内訳は、出店していただいている事業者・団体の方、市の職員、またボランティアとして、東海樟風高等学校、星城大学の生徒・学生に毎年お手伝いに来ていただいている。

2 番委員（石川 真理子）

へいしゅうカルタとり大会の結果について、昨年度保護者から、カルタはどこで売っていますか、とよく聞かれた。私はへいしゅうくんグッズを愛用しており、身近に感じられて愛着が沸く。グッズが身の回りにあると、細井平洲先生のことをより身近に感じられ、思いが寄せられると思う。こういったイベントの際に販売をすると市民も手に取りやすいと感じるが、今後グッズ販売のスペースを設けるのはどうか。

社会教育課長（永井 伸明）

カルタについては、東海市観光物産プラザで取り扱っており、購入場所を聞かれたら、そちらを案内している。へいしゅうくんグッズについては、平洲会で作成しているもので、平洲記念館や市役所の窓口で購入できるが、数年前から東海市観光物産プラザでも取り扱いを開始したため、手に取りやすくなったのではないかと考えている。

3 番委員（木村 敏幸）

へいしゅうカルタとり大会の結果について、当日参加したが、低学年の子たちが子ども同士でうまくできない点が気になった。自分で枚数の計算をする場面で、時間かかり苦労している子がいたため、スタッフを増やすなどもう少しサポートが必要であると感じた。最後、ランク分けをした時に「仙人」がいなかったため少し残念であったが、今後も良い事業になるようにしていって欲しい。

社会教育課長（永井 伸明）

カルタを同時にとった時の話し合いなど、低学年同士では難しい場面があった。また、2桁の足し算が難しい子がいたためスタッフと一緒に計算している場面もあった。今後は低学年のスタッフ配置を多くして対応をしたい。高学年の方は自分たちで解決できていたので、現状の配置で良いと考える。

教育長（鈴木 俊二）

ほかにはないようですから、これをもって質疑を終わります。

教育長（鈴木 俊二）

(8)その他について、何かありますか。

教育長（鈴木 俊二）

ないようですから、これをもって終わります。

以上で「報告事項」を終わります。

教育長（鈴木 俊二）

以上をもって、今回定例会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。
これをもって、令和８年第８回東海市教育委員会定例会を閉会いたします。